

地域住民を対象とした地域薬局連携型健康支援システムの構築

○徳毛 孝至¹⁾、今村 浩二²⁾、木村 直昭³⁾、平野 健³⁾、大澤 智³⁾、辻田 吉則³⁾、岡本 伸也⁴⁾、田中 哲郎⁵⁾、小嶋 英二朗⁵⁾、杉原 成美⁵⁾
1) 公立学校共済組合中国中央病院、2) 株式会社ザグザグ、3) 株式会社ププレひまわり、4) 尾道市立市民病院、5) 福山大学薬学部

目的

2016年4月より開始された健康サポート薬局には、従来のかかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、地域住民の健康の保持増進を積極的に支援することが求められている。受診勧奨のみならず保健指導の対象者を地域薬局が把握し継続的に支援することは、健康寿命の延伸を図る上において意義が大きい。しかし、地域薬局が単独で健康支援に取り組むには、健康状態を把握する環境が整備されていないことや、地域薬局による健康支援の機能について地域住民に十分周知されていないこと等の課題がある。

そこで今回、以下について検討した。

- 地域薬局と大学が連携した健康支援システムの構築
- 構築した健康支援システムによる地域の潜在的健康リスク者の把握

総括

- 地域薬局および大学が連携した健康サポートの取組みにおいては、1薬局だけでは困難なセルフチェックによる簡易測定結果を活用した支援も可能となり、地域薬局の機能を周知・浸透させる有用なシステムとなる可能性が示された。
- 健康状態に関するセルフチェックによる簡易測定の結果から、潜在的健康リスク者が地域に多数いることが推察された。
- 地域薬局が地域住民の健康を、健康な段階から積極的に支援する機能を充実させていく必要性が示された。

方法

1.解析対象者

2016年9月及び翌年2月、協力薬局で予め参加登録を行った地域住民及び当日参加した地域住民72名のうち、加療中の18名および測定できなかった1名を除く53名を解析対象とした。

2.健康に係わるセルフチェック項目と判定基準

表1の判定基準に従って、内臓脂肪蓄積、血圧高値、血糖高値（HbA1C）、脂質異常（LDL-C、HDL-C）の4項目について、正常、保健指導、受診勧奨レベルの3群に分類した。

表1.測定項目の判定基準と機器

測定項目	判定基準	測定方法または機器
内臓脂肪	リスクレベル：腹囲（男性85cm以上、女性90cm以上）またはBMI≥25 のいずれかに該当	腹囲は軽呼吸時、立位臍高位で測定
血圧	正常レベル：収縮期血圧<130かつ拡張期血圧<85（mmHg） 保健指導レベル：収縮期血圧130-139または拡張期血圧85-89（mmHg） 受診勧奨レベル：収縮期血圧≥140または拡張期血圧≥90（mmHg）	上腕式血圧計OMRON（オムロンヘルスケア）
HbA1C	正常レベル：HbA1c<5.6 保健指導レベル：5.6 ≤ HbA1c<6.4 受診勧奨レベル：HbA1c ≥ 6.5	コバス b 101（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）
血清脂質 LDL-C HDL-C	正常レベル：LDL-C<119（mg/dL）かつHDL-C ≥40（mg/dL） 保健指導レベル：120 ≤ LDL-C<140（mg/dL）または35≤ HDL-C<40（mg/dL） 受診勧奨レベル：LDL-C ≥ 140（mg/dL）またはHDL-C<35（mg/dL）	コバス b 101（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）

3. アンケート調査

測定会場において、自記式により下記のアンケート調査を実施した。アンケートの回答は、「はい」、「いいえ」の選択式とした。

調査項目
（1）本健康支援システムの利用について - フィードバック券を希望しますか？ - 次回本健康サポートフェアに参加したいと思いますか？ （2）かかりつけ薬剤師・薬局の利用状況 - かかりつけ薬局（薬剤師）をお持ちですか？ - 処方箋がなくても薬局に行き、薬剤師に日頃の健康管理などについて気軽に質問ができますか？ - 地域薬局の薬剤師が健康増進や健康管理を支援してくれるとすれば、利用したいと思いますか？

結果

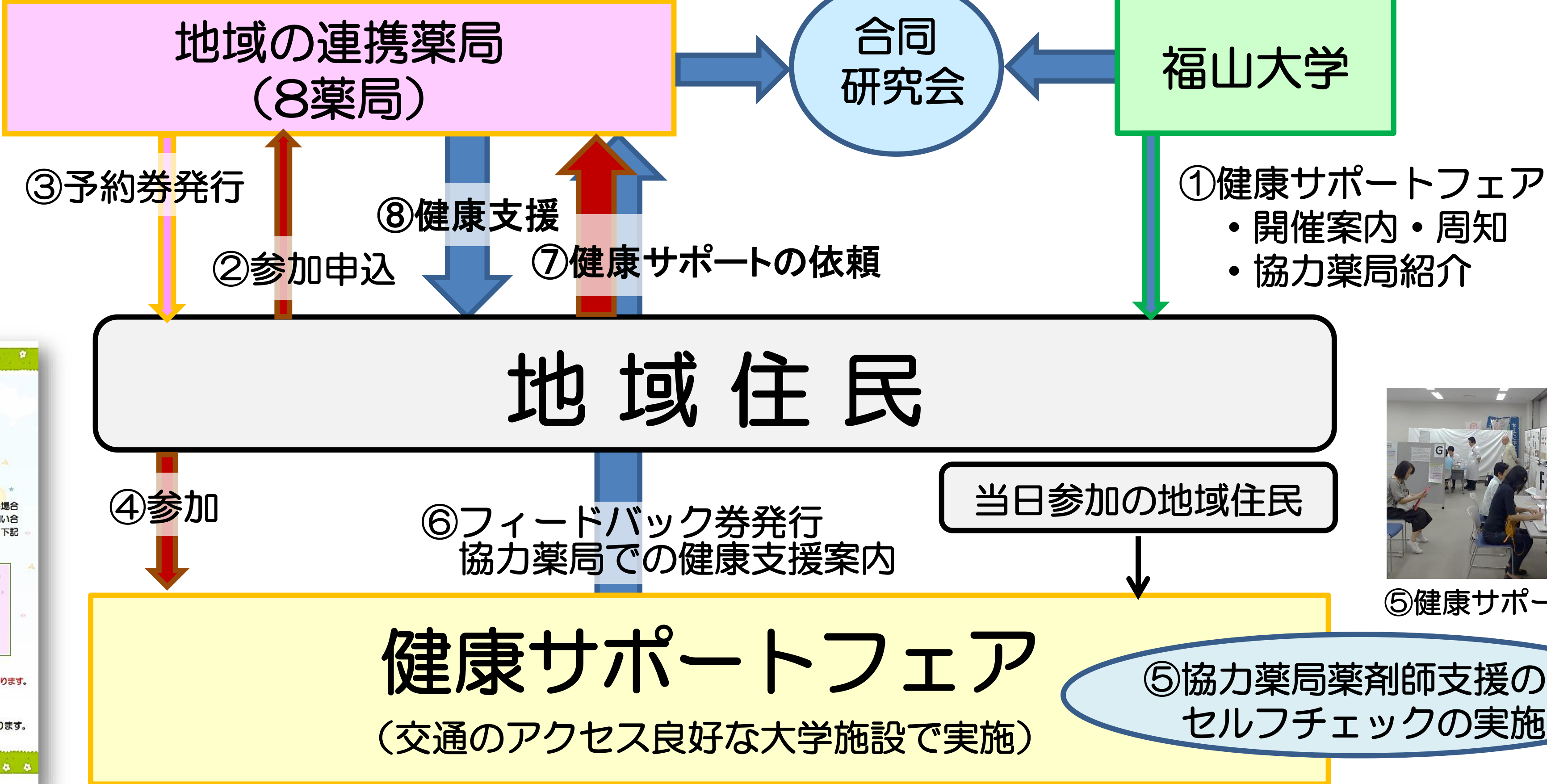
[1]地域薬局と大学が連携した健康支援システム

データの解析とフィードバックコメントの作成

正常レベル → 健康増進を高める情報提供及び支援
保健指導レベル → 健康に関わる課題に対する支援
受診勧奨レベル → 適切な医療機関を紹介

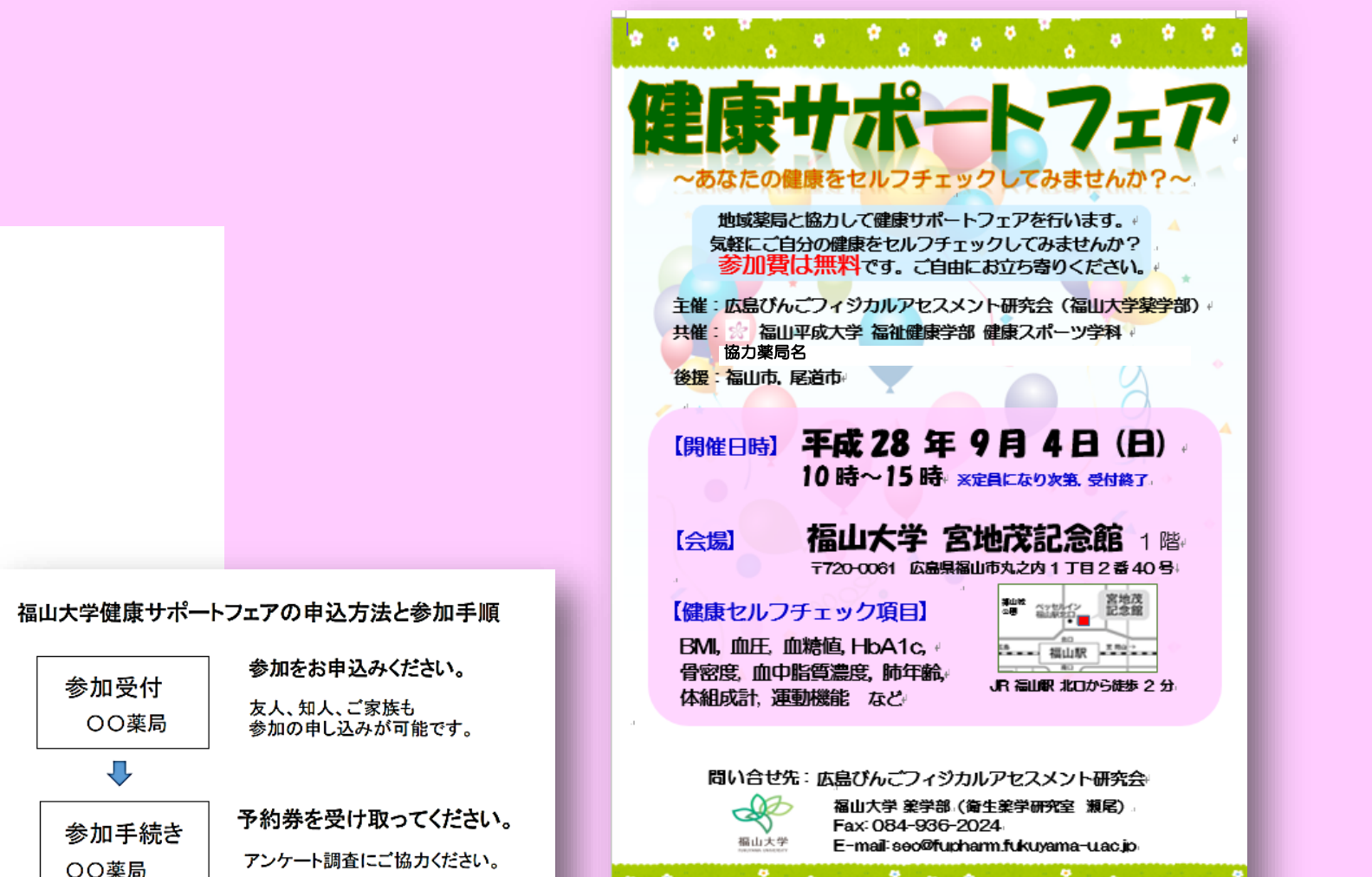
データ解析検討会

解析結果とフィードバックコメント



健康サポートフェア

（交通のアクセス良好な大学施設で実施）



周知用チラシ・ポスター

①周知用チラシやポスターにより、健康サポートフェアへの参加を募った。↓

←参加申し込み方法と手順の説明には、書面を用いた。

→健康サポート協力薬局
参加希望者に提示した協力薬局の一覧表



⑤健康サポートフェア会場内の様子

健康セルフチェックに参加された皆さまへ

今回のセルフチェックの結果から、定期的健康診断や特定健康診査の受診は健康な生活をおく上で大変重要です。今回の測定結果の数値が基準の範囲内であっても、定期的に健康診断を受けましょう。

今回のセルフチェックの結果について、薬剤師が説明やご相談にのります。フィードバック予約券を受け取り、詳しくは、協力薬局にお尋ねください。

また、フィードバック予約券を9月21日（水）～12月28日（水）の期間に協力薬局に持参していただき、優先的に次回健康セルフチェックのご予約と予約券を受け取ることができます。

後日、お問い合わせは、所定日に記載している連絡先におこなってください。

定期的健康診断の重要性についての啓発と協力薬局による健康支援の案内↓

[2] アンケート調査結果

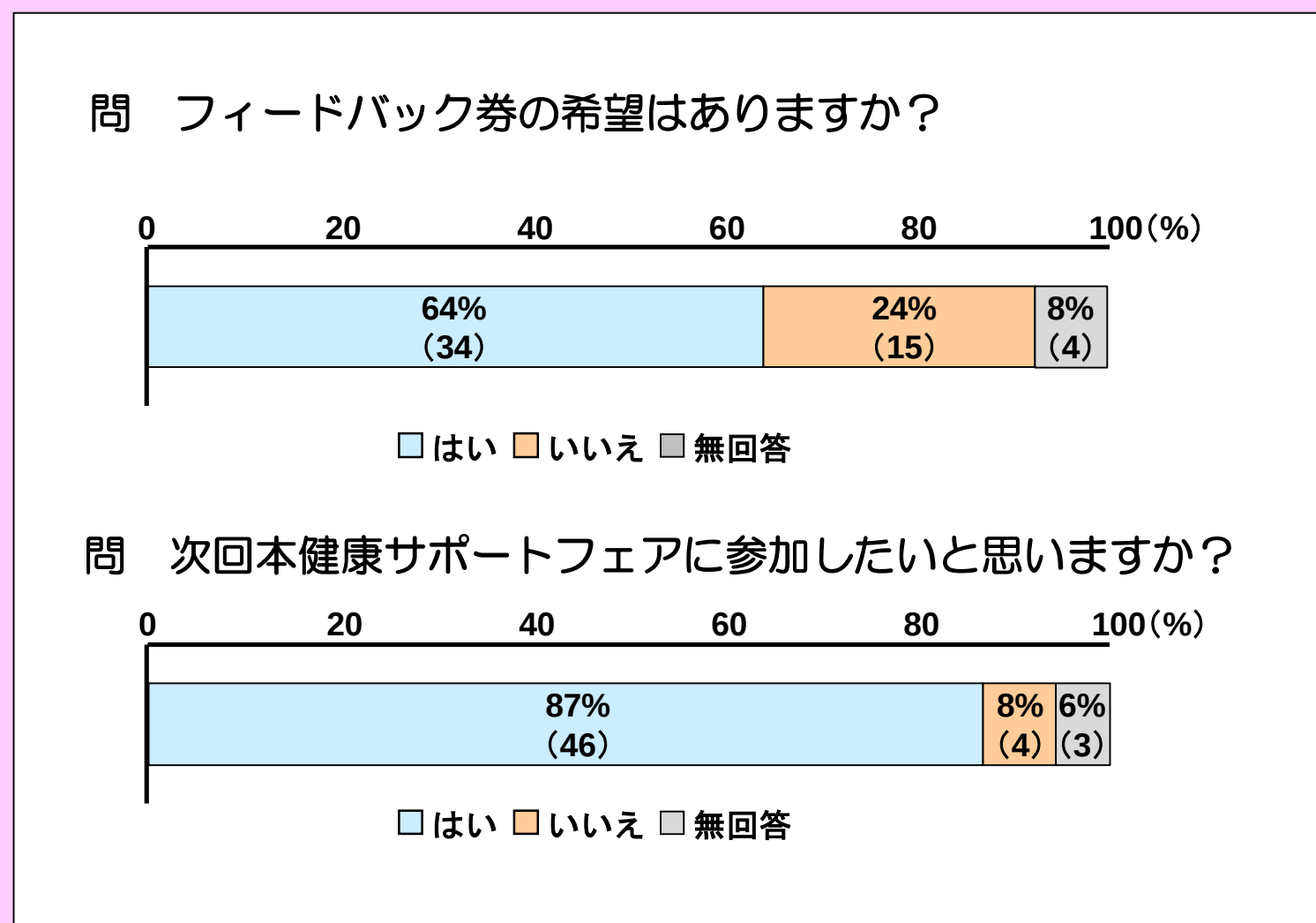


図2-1. 本健康支援システムの今後の利用

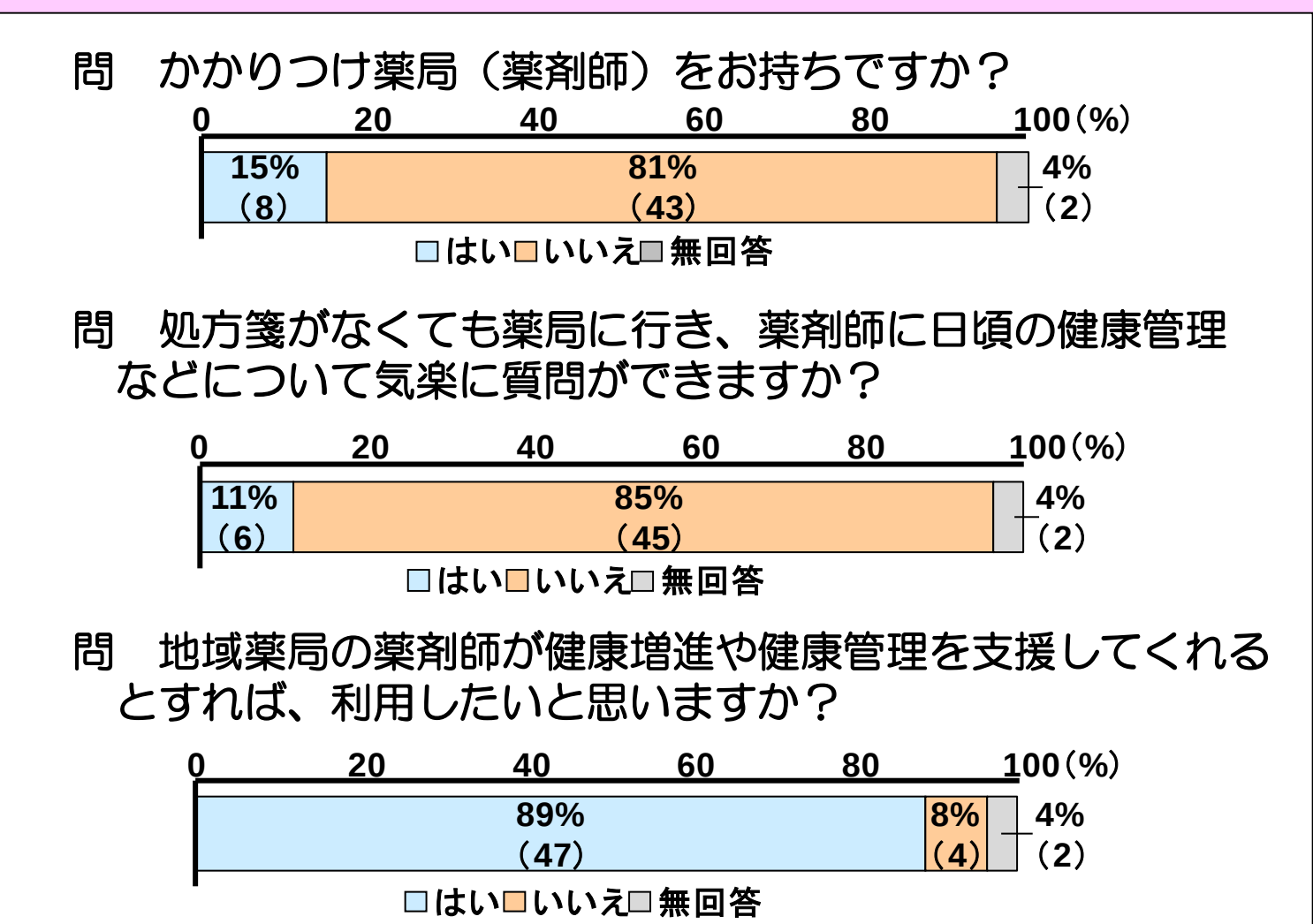


図2-2. かかりつけ薬剤師・薬局の利用状況

[3] 健康サポートフェアへの再来率

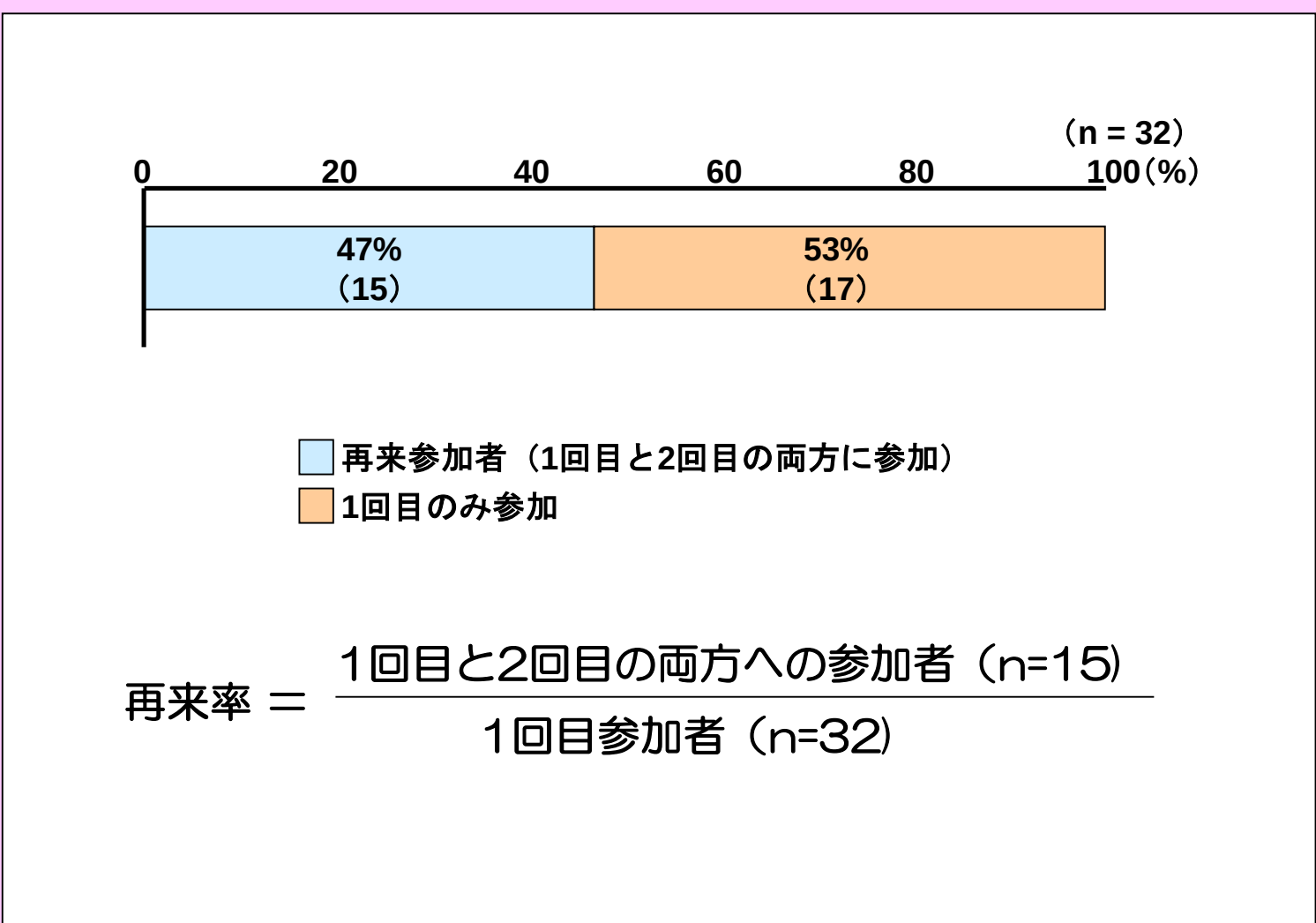


図3. 健康サポートフェアへの再来率

●地域薬局が連携し、セルフチェックによる簡易測定を取り入れた健康サポートは、地域住民に好評であり、高い支持を受けたことが示された【図2-1、図3】。

- 測定結果について薬局で解説や健康支援を受けるための予約券（フィードバック券）を希望すると回答した割合は64%
- 次回も健康サポートフェアに参加を希望すると回答した割合は87%
- 健康サポートフェアへの再来率は47%

●地域薬局の薬剤師による健康支援を希望する地域住民の割合は高いが、環境が整っていないことが推察された【図2-2】。

- 現在かかりつけ薬局（薬剤師）がない割合は81%
- 処方箋がなくても薬剤師に相談ができる割合は11%
- 薬剤師による健康支援を希望する割合は89%

●潜在的健康リスク者が地域に多数いることが示された【図4-1、図4-2】。

- 血圧高値、血糖高値、脂質異常に関して、受診勧奨レベルの割合は45%、保健指導レベルの割合は32%であった。
- 血圧高値、血糖高値、脂質異常リスク者の割合はそれぞれ、受診勧奨レベル30%、2%、26%、保健指導レベル15%、51%、43%であった。

●内臓脂肪リスクの有無に関係なく、血圧高値、血糖高値、脂質異常の予防対策が健康支援において重要であることが示された【図4-3】。

- 内臓脂肪リスクありの割合は32%であった。
- 内臓脂肪リスクの有、無における血圧高値、血糖高値、脂質異常の割合はそれぞれ、受診勧奨レベル53%、42%、保健指導レベル38%、31%であった。

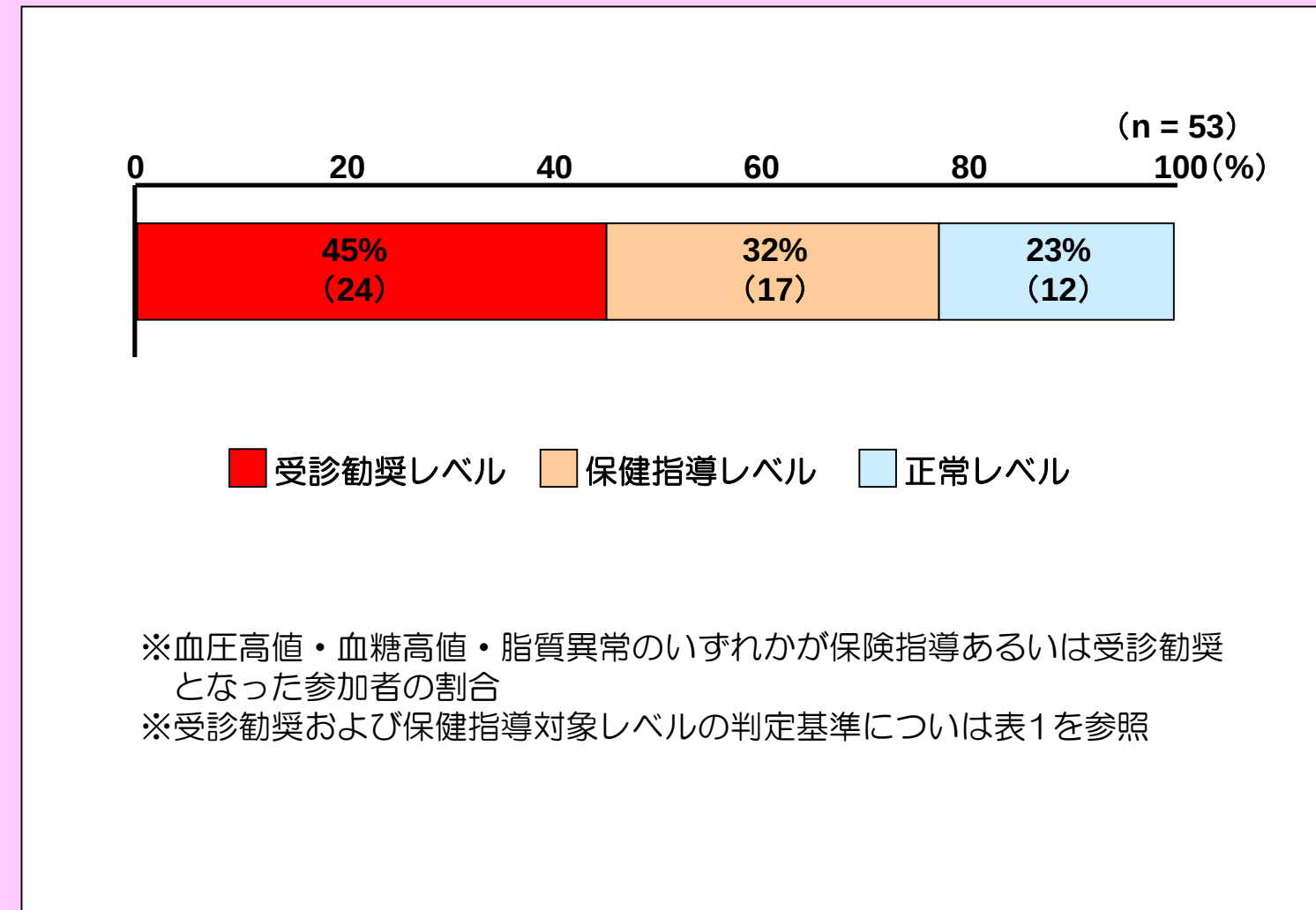


図4-1. 血圧高値・血糖高値・脂質異常に関する保健指導及び受診勧奨対象の割合

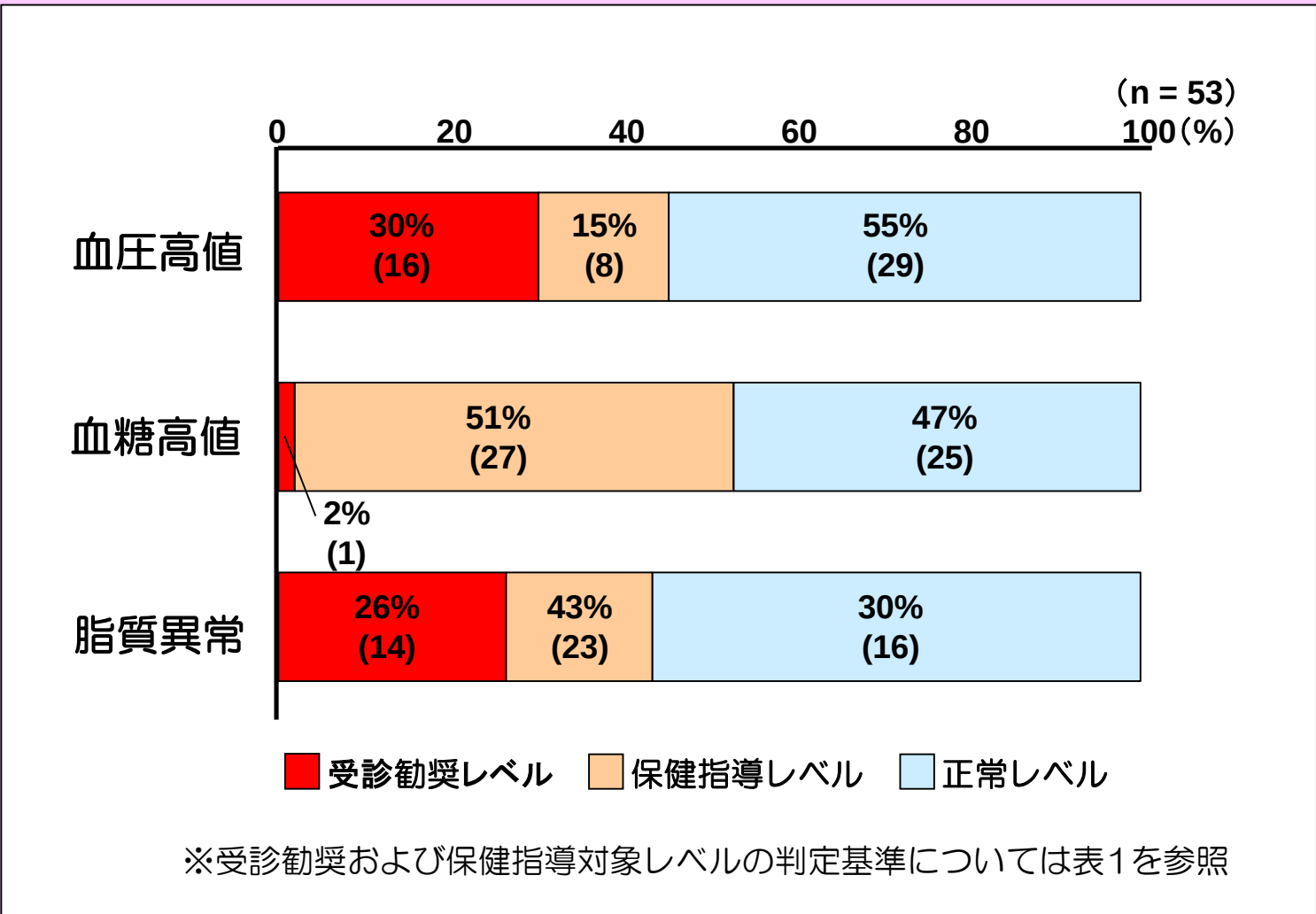


図4-2. 血圧高値・血糖高値・脂質異常の保健指導及び受診勧奨対象の割合

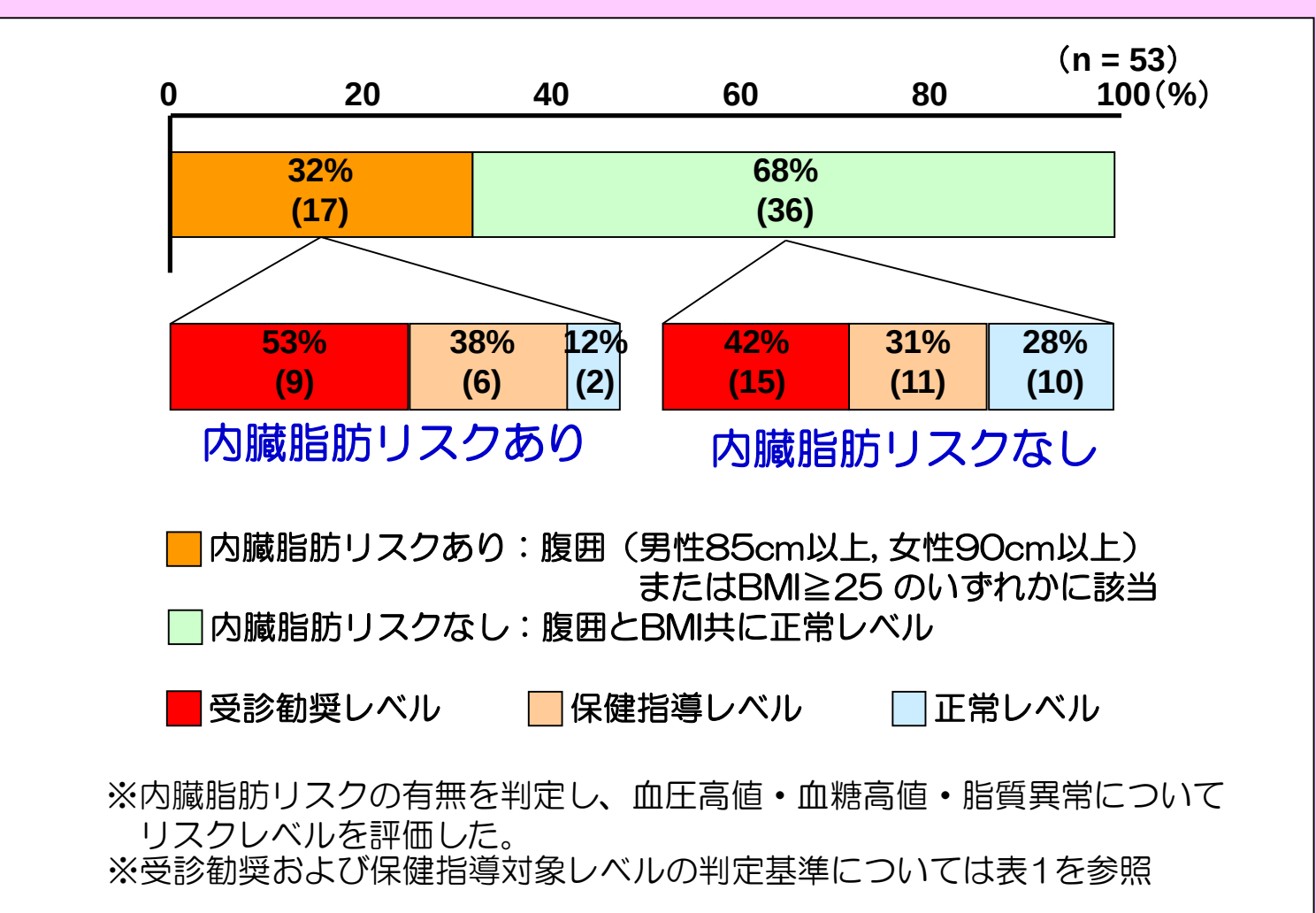


図4-3. 内臓脂肪リスクとの重複における保健指導及び受診勧奨対象の割合